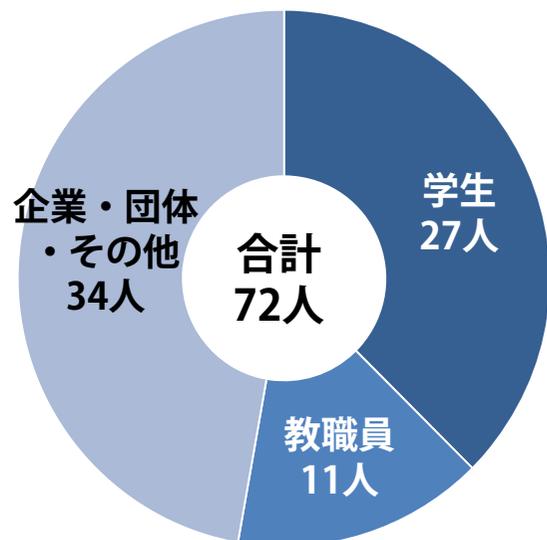


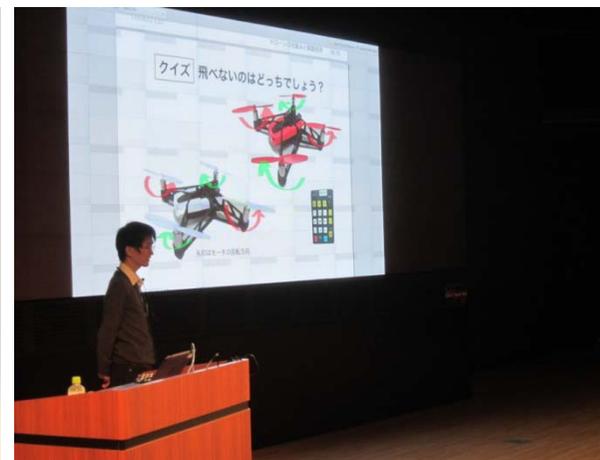
# 第11回マイクログリッド交流会参加者集計・アンケート結果

## 1. 参加者集計



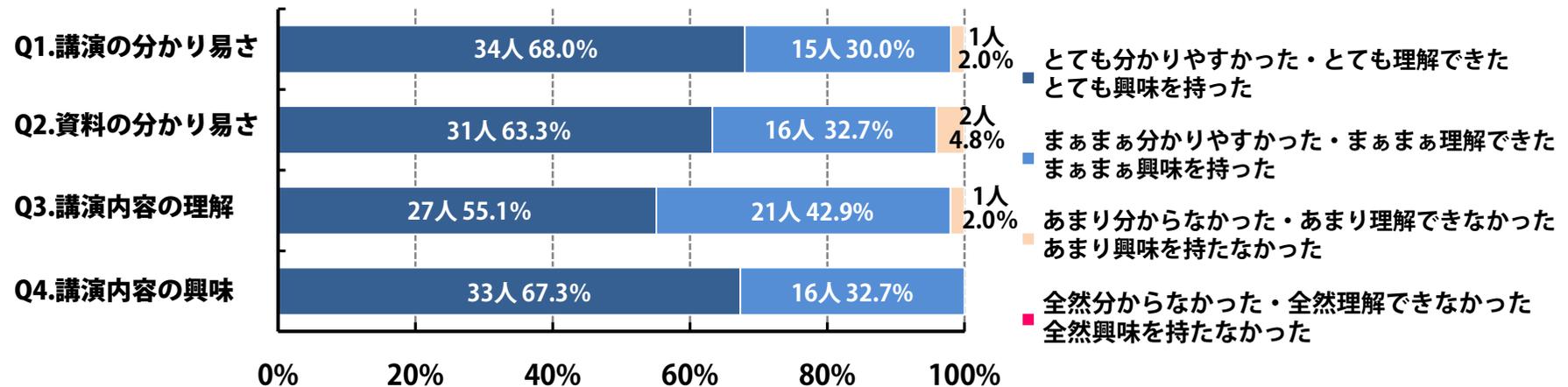
### 参加者の内訳

学生	KIT	航空システム工学科	3	27
		ロボティクス学科	2	
		情報工学科	19	
		メディア情報学科	1	
		情報工学専攻 (大学院)	1	
	JAIST	情報科学研究科	1	
教職員 (KIT・JAIST)			11	
企業・団体・その他 (講師含む)			34	
<b>合計</b>			<b>72</b>	



## 2. アンケート結果

### 2.1 講演1 「広告業界でのドローン活用と課題」

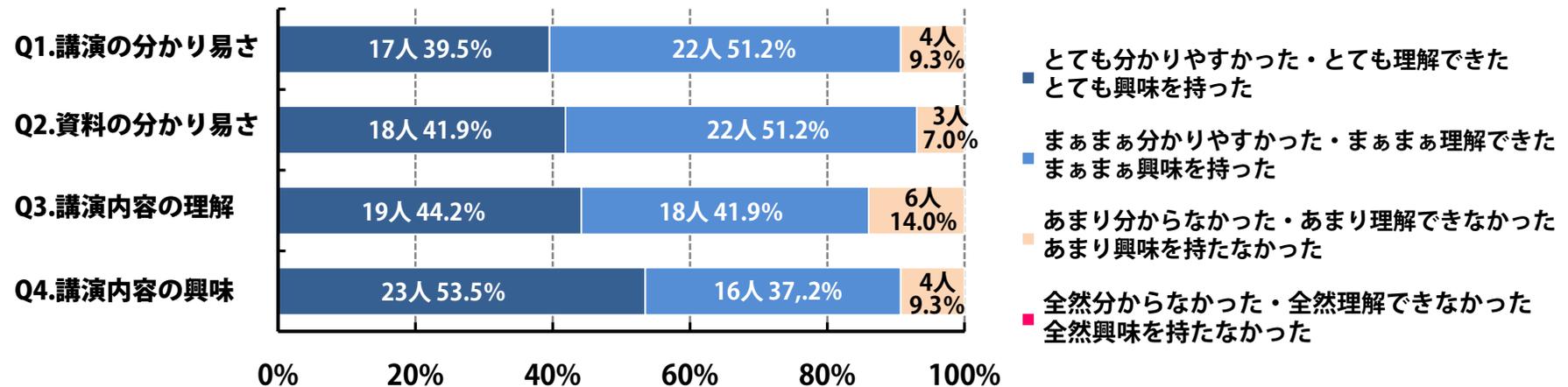


#### <自由記述>

- (1) ドローン技術の進歩や産業との関わりは私が思っていたよりも強かった。他の企業の方々もドローンを利用して撮影を行っているを知り、今後も需要が高まっていくのだろう思った。(学生)
- (2) 今回初めてこのような場に参加させていただきましたが、いつもは学生達と講話を聞いていたが、交流会は年齢の離れた方々と一緒に聴講することは、とてもいい体験になりました。(学生)
- (3) 空撮はあらためて魅力的なものと感じました。様々なシーン(生活の中の)で活用できる技術であることが分かりました。(教職員)
- (4) ドローンの使い手が安心できるドローンが必要だと感じた。技術的な進化が必要。(外部参加者)
- (5) ドローンを山地で扱うのに、失敗例を挙げていただいたのが参考になりました。実戦にもとづいた話は役立ちました。(外部参加者)

## 2. アンケート結果

### 2.2 講演2 「ドローンの仕組みと制御技術」



#### <自由記述>

- (1) ドローンについての全体の分かりやすい説明が良かった。プログラムや通信の話は難そうであったが、全体像はつかめた。実践もして下さったので、とても興味が湧いた。(学生)
- (2) ドローンの使い方が分かりやすく、作りやすくどんなことができるのか分かったため、自分でもやってみたいと思いました。(学生)
- (3) プログラミングに関しては全くの初心者なのでほとんど理解できなかった。しかし、120行のプログラムでドローンを制御できるという話があり、少しハードルは下がったかなと思った。(学生)
- (4) 制御プログラムを教えて頂き、日本語のマニュアルだけで操縦してましたので、日本語BASICに格闘して、測量計算プログラムに没頭していた30~40代の頃を思い出しました。(外部参加者)